

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

平成30年度 第2回 定時理事会

議 事 録

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
平成30年度第2回定時理事会議事録

日時 平成31年3月28日(木)
午後1時58分 開会
会場 調布市教育会館
302研修室(3階)

出席理事(5人)

理事長	武者小路 知行
常務理事	大 木 正 勝
理事	岩 本 宏 樹
理事	安 本 登喜子
理事	濱 嶋 稔

出席監事(2人)

監事	新 井 七 吾
監事	源 後 哲 郎

相談役	福 田 宏
-----	-------

事務局	事務局長	大 木 正 勝(兼任)
	局長代理	福 島 さとみ
	主幹	生 野 正 毅
	次長	伊 藤 陽 子
	総務係主任	石 井 めぐみ

(午後3時8分 閉会)

[議事次第]

－理事長挨拶－

第1 議題

(1) 審議事項

- ア 議案第1号 平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館補正予算第1号について（専決処分）
- イ 議案第2号 平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画（案）について
- ウ 議案第3号 平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算（案）について

第2 その他

- ・ミュージアムショップのリニューアルについて
- ・実篤記念館紹介記事について
- ・春の特別展「実篤がみた女性たち」について
- ・ぐるっとパス2019について
- ・役員報酬の源泉徴収額の変更について
- ・平成31年度の職員体制について

○事務局　それでは、定刻より少し早目ではございますが、平成30年度第2回の定時理事会を始めたいと思います。

本日は、年度末のお忙しい中お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。ただいまから平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館第2回定時理事会を開催いたします。

初めに、武者小路知行理事長から一言ご挨拶をお願いいたします。

○武者小路理事長　お忙しいところ、ご苦労さまでございます。

何かお天気も暖かい日があったかと思うと、今日もちょっと涼しいというか肌寒い日もあったり、はっきりしない状況が続いていますけれども、お体に気をつけて皆さんお過ごしのことと思います。いろいろお忙しい方もいらっしゃるということですので、できるだけスムーズに会議を進めたいと思いますので、ご協力よろしくをお願いいたします。

○事務局　ありがとうございました。

それでは、ただいまから理事会を開会いたします。

議事の進行につきましては、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第33条の規定により、理事長が行うことになっておりますので、進行のほうを武者小路理事長、よろしくお願いいたします。

○武者小路理事長　それでは、議長を務めさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

議事に入ります前に、本日の理事会の効力について事務局から報告をお願いいたします。

○事務局　本日は、理事6名のうち、5名が出席されております。また、欠席された柏原理事につきましては、事前に委任状を頂戴しております。以上のことから、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第34条に定める定足数に達していることをご報告申し上げます。

なお、濱嶋理事につきましては、本日、この後に他の行政委員会に出席を予定されておりますので、なるべく私どもも、先ほど理事長が申し上げたように円滑に進めたいと思いますが、途中で退席することになろうかと思っておりますので、あらかじめご了承をお願いいたします。

○武者小路理事長　それでは、議事進行次第に基づいて議事を進めていきたいと思っております。

初めに、議案第1号「平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館補正予算第1号について」を議題といたします。

それでは、説明をまずいただいた後、質疑に入りたいと思います。

○事務局 議案第1号「平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館補正予算第1号について（専決処分）」のご説明をいたします。

この補正は、移動用の展示ケースのガラス破損の発生や、防火設備点検の義務化に伴う支出増、自主事業の予算の組み替えに伴う補正でございます。この補正予算は、理事会等を開くいとまがないことから専決処分とさせていただきます。

では、補正予算第1号をごらんいただきたいと思います。

1 ページでございます。総括表、I 事業活動収支の部の上段が事業活動収入でございます。下段が事業活動支出となっております。

まず、上段の事業活用収支の部（事業活動収入）の5諸収入でございます。3 雑収入で当初の予算15万円に対して補正額38万9,000円、合計で74万円となります。これは平成30年9月7日に展示替え終了後、地下展示倉庫内で作業用の机が倒れ、倉庫内に保管してありました移動用の展示ケースのガラスが破損する事故が発生いたしました。人的被害はございませんでしたが、ケースのガラスが破損、ひびが入り、ケースの構造上、上部のガラス部分の全体の取りかえが必要となりました。この修理費用につきましては、施設賠償保険の保険金が支払われることとなり、この補正金額は保険金となるものでございます。これにより、事業活動収入の合計は、当初1億3,226万3,000円に対して、補正額38万9,000円増額し、補正後は1億3,265万2,000円となります。

これに対して、事業活動支出となります。2 事業費1 普及促進事業が当初の予算額1,165万8,000円に対して、13万1,000円を減額し、1,152万7,000円となります。3 施設管理費1 施設管理運営事業費では、当初1,329万1,000円に対して、補正額52万増で、合計1,381万1,000円となります。これは収入の38万9,000円増と普及促進事業の13万1,000円減額の合計の金額となります。4 自主事業費は、科目内の組み換えですので、総括表での増減はございません。これにより、事業活動収支は、当初予算額1億3,226万3,000円に対して、補正額合計は38万9,000円となり、合計1億3,265万2,000円となります。事業活動収支の差額はいずれもゼロ円になります。

2 ページ目以降が、科目別の一覧でございます。事業活動収入については、先ほどのとおり諸収入のところで38万9,000円の補正の増額をしていただいております。

次のページをごらんください。1 管理費でございます。管理費は補正はございませんので、この当初予算と同額でございます。

2 事業費でございます。1 普及促進事業費のうち5 使用料・賃借料が当初予算27 万円に対して補正額13 万1,000 円となります。そして、合計が13 万9,000 円というふうになります。これは、新しき村100 周年の特別展と移動展において、当初想定されておりました新しき村美術館の作品借用料が村のご協力で無料となりました。このため、残金が多かったことから、施設管理運営事業費の不足額である金額13 万1,000 円を減額いたしました。

次に、5 ページをごらんいただきたいと思います。3 施設管理費でございます。1 需用費の修繕料が当初340 万8,000 円でしたが、補正額が43 万円の増、合計で383 万8,000 円となります。これは、先ほど申しましたように、展示ケースの修繕、ほかに緊急的な修繕により年度後半で予定しておりました修繕の費用が不足したことによるものでございます。次に、3 委託料でございます。保守点検委託料の箇所、毎年実施しております建築設備点検が平成30 年度より防火設備の点検項目が義務化されたことにより、その追加費用に当たります。当初の予算額が141 万9,000 円に対して9 万円増、合計として150 万9,000 円となります。これにより、施設管理費の合計は、当初予算額1,984 万3,000 円に対して、補正額52 万円増となり、合計額2,036 万3,000 円となります。

次に、6 ページ、自主事業費でございます。申しわけございませんが、表の右から2 番目の列、「増減」と記載しておりますのは、表記が誤りで「合計」となります。申しわけございません。ご修正いただければと思います。4 自主事業費では、ミュージアムショップのリニューアルに伴う家具の追加製作と新しき村100 周年事業に関する新しき村への協力謝礼にかかわる自主事業費内の組みかえとなります。

自主事業費の2 物販事業費2 商品仕入費の金額でございます。当初500 万に対して30 万円の減額を補正し、合計470 万円となります。これは、新しき村100 周年事業で「文豪とアルケミスト」とのタイアップ企画のグッズにかかわる費用が確定したことから、その残金30 万円を減額いたしました。次に、5 委託料でございます。当初148 万円に対して補正で30 万円の増額、合計178 万円となりました。これはミュージアムショップのリニューアルに伴う費用で、本日配付いたしました資料の

中に、ミュージアムショップのリニューアルの様子がわかるかと思うんですが、すけれども、一番最初のところの上に出しております。カラーでショップの様子の写真入りでございます。その中で、当初左右の棚2台の製作を予定しておりましたが、コーナーの統一感を図る必要があることから平成30年度製作する家具として、中央に写っておりますカウンター台を追加し、また絵葉書用の木製の箱を製作することとし、その不足額30万円を増額したものでございます。2物品販売事業費内の組みかえとなることから、物品販売事業費の予算額合計額は変わらず745万円となります。

次に、3自主事業費です。1報償費は当初10万円に対して補正で20万円増となり、合計30万円となります。これは、新しき村100周年事業での新しき村への協力に対する礼品を送った費用に当たります。礼品は、新しき村のご希望による音響機器と、美術館清掃用のロボット清掃機を購入いたしました。次に、報償費の増額分については、5委託料が10万円の減額補正、10人件費が10万円の減額補正となります。いずれも「文豪とアルケミスト」とのタイアップ企画のために予算化した費用で、事業終了によりその残額に当たります。3自主事業も自主事業内での組みかえとなることから、当初137万5,000円に対して補正額はゼロとなり、合計額が同額の137万5,000円になります。

7ページの「5予備費」には、補正はございません。

以上で、雑駁ではございますが、平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館補正予算第1号の説明を終わります。

○武者小路理事長 お疲れさまでした。

ただいま事務局より説明いただきました議案第1号「平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館補正予算第1号」について、ご異議、ご質問はございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○武者小路理事長 特にご異議なしということでしたら、これで「平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館補正予算第1号について」は承認ということにいたします。

では、次に、議案第2号「平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画(案)」及び議案第3号「平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算(案)」について」を議題にいたします。

議案の都合上、第2号、第3号について一括しての説明をいただきたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、そのようにお願いいたします。

○事務局　それでは、まず、議案第2号「平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画（案）について」。

上記の議案を提出する。平成31年3月28日。提出者、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事長、武者小路知行。

提案理由。一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第8条の規定により、理事会の決議を求めるため提案するものであります。

それでは、事業計画（案）に沿ってご説明させていただきます。平成31年度に重点的に取り組むことを中心としてご説明してまいります。

まず、1ページ目ですが、基本方針の部分でございます。一般財団法人調布市武者小路実篤記念館は、調布市が平成26年4月から指定管理者制度を導入されたことから、最初の指定管理者として指定され5年間担ってまいりました。平成31年度からはその2期目に入ります。今回の指定管理期間は10年間となります。また、引き続きまして、調布市実篤公園の日常管理についても受託をしてまいります。この間、事業運営といたしましては、日本で唯一の「実篤・白樺・新しき村」の情報発信基地として、実篤の多岐にわたる活動を紹介するということ、それから、「何度でも行きたくなる実篤記念館」を目指してリピーターの定着などに取り組んでまいります。施設管理につきましては、芸術鑑賞施設として、子供から高齢者まで利用者が訪れますので、安全、快適、清潔な運営に努めてまいります。

また、2019年・2020年には、国内外から多くの来訪者が見込まれる国際的なスポーツ大会も控えておりますので、そういったことについてさまざまな市民はじめ企業、NPO、大学などと連携して魅力ある事業を展開してまいります。

では、2ページの重点的な取組について、ご説明を申し上げます。

まず、1つ目でございますが、学校との連携の推進です。これまでも、近隣の学校などとの連携に努めてまいりましたが、これから平成31年度におきましてもさらに部活動などでの成果発表の場を提供したり、あるいはボランティアの体験ができるなどの幅広い学習の機会を子供たちに提供していくこと、また、実篤記念館のさまざまな資源を活用して、子供たちの学習と郷土愛を育むための博学連携プログラムの活用体制づくりなどを積極的に進めてまいります。

2つ目でございますが、秋の特別展として「長與善郎と実篤」という特

別展を開催することを予定しております。こちらは、平成29年度にご遺族からお預かりいたしました長與善郎、白樺同人でございますが、関係資料の調査・研究、整理を進めてまいりました。こちらを活用して秋に特別展を開くという形で生かしてまいりたいと考えております。

3番目ですが、「友情」発表100年リレー展示でございます。武者小路実篤の代表作の『友情』は、大正8年（1919年）に発表されまして、2019年に100年目を迎えることとなります。これを記念しまして、平成30年度に企画しております企画展・特別展の中で、各展覧会でコーナーを設けて、さまざまな角度から『友情』を紹介するというリレー展示を行うことを計画しております。

4番目です。登録有形文化財「旧武者小路実篤邸」の保存と活用でございます。平成30年11月に、旧武者小路実篤邸が国の登録有形文化財に登録されました。こちらを登録有形文化財として築60年以上経過した建物の保存に努めるとともに、公開・活用を進めてまいります。

5番目です。ボランティアの養成でございます。実篤記念館のボランティアは、平成15年度から活動を始めました。特に、ボランティアガイドにつきましては、利用者から大変好評を得ておりますが、ここ数年の間に養成がされてまいりませんでしたので、今回平成31年度には新規の養成を行うこととし、ボランティア活動の活性化を図ってまいります。

6番目ですけれども、他施設との連携の推進でございます。実篤記念館が蓄積してまいりました情報とか教育資源を生かし、市内との施設との連携はもとより、昨年度までも行ってまいりました多摩川流域自治体交流イベントラリーに加えまして、府中市美術館、小金井市立はげの森美術館と3館でのスタンプラリーを新たに実施するなど、周辺のさまざまな施設との連携を図り、外へつながる展開にさらに努めてまいります。

7項目めでございます。作品資料の保存環境の整備でございます。実篤記念館が収蔵する作品・資料の状態を保って後世に伝えるために温湿度の管理、調整などに努めまして、保存環境、それから展示環境の維持・改善に努めてまいります。平成31年度は、隔年で行っております虫菌害を防止するための収蔵庫の燻蒸消毒を実施いたします。

続きまして、事業内容の説明に移ります。今までにご説明してきたこと以外について、ご説明をしてまいりたいと存じます。

（1）の展示事業でございますけれども、6ページの表と、それから17ページの展示日程をお配りしておりますので、こちらも対照しながら

とさせていただきます。

年2回の特別展と5回の企画展を開催いたします。特別展は、春は「実篤がみた女性たち」、秋は先ほどもご紹介いたしました「長與善郎と実篤」という展覧会を企画しております。また、平成27年度以降に新たに収蔵した資料・作品がかなりございますので、こういったものを発表する展覧会。それから先ほど重点的な取り組みでもご紹介いたしました『友情』発表100年を記念しての通年での展示コーナーを設けるといった活動を予定してまいります。

続きまして、4ページ、普及事業でございますけれども、普及事業につきましては、7ページの表にも細かい内容を示してございます。学校教育につきましては、先ほどご紹介いたしました、博学連携を図ってまいります。また、夏休み事業で中学生のボランティアを導入しているんですが、こういったものも市全域へ働きかけをするということ、それから、ただいまは中学生のボランティアのみになっておりますが、高校生、大学生のボランティア参加を目指しまして、ニーズと要件の把握に努めて環境整備をしてまいります。郷土博物館との事業協力など、市内施設との協力も進めてまいります。それから、ボランティアにつきましては、先ほどご説明いたしました。また、広報活動として、独自ツイッター、それから広報課を通してのリリースなどによる周知、また、他館や各種の団体への講師派遣などに積極的に取り組んでまいります。

続きまして、資料管理事業でございますが、10ページと11ページに具体的な内容について示しております。実篤記念館の資料の充実、またその資料の維持・保存につきまして努めてまいります。これにつきましては、先ほどの燻蒸消毒にもかかわってまいります。

4番目でございますが、閲覧サービス、情報公開事業でございます。こちらは12ページのほうに表がございます。来館者が日常にご利用いただける一般閲覧、それから、研究者などに事前に予約をしていただいてご利用いただいている特別閲覧の事業、それから、さまざまなデータベースでの実篤記念館収蔵品の情報公開などを通じまして、実篤記念館の持っているさまざまな情報と資料について、あるいは事業についての情報を発信してまいります。

調査・研究事業でございます。こちらは13ページのほうに表にまとめてございます。先ほどもご紹介いたしました長與善郎関係の資料の整理、それから研究・調査などを進めまして、所蔵者のご意向を確認しながら受

贈に向けての整備をしてまいります。また、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、武者小路実篤とオリンピックに関する資料の調査・研究、また、調布市は映画の街でございますので、実篤作品の映画化に関する資料情報の研究・調査などを引き続き進めてまいります。

5ページの(6)施設管理事業でございます。こちらは、14ページのほうに対照しております。実篤記念館の施設・設備につきましては、経年劣化による各種の不具合の発生の頻度が上がっておりますので、そういったことについて対応し、利用者が安全・快適に利用できる環境を維持してまいります。また、実篤記念館の収蔵する資料・作品の保存状態の維持と管理に努めてまいります。こちら先ほど重点項目でもご紹介いたしましたが、平成31年度は、これは隔年で行っているものですが、収蔵庫の燻蒸消毒を実施いたします。また、館内エレベーターの安全の確保のために、平成30年度に不具合を起こしましたシーケンサーの取りかえ修繕を進めます。空調設備につきましては、今後も空調の安定について努力に努めてまいります。適正な温湿度となるように、状況の確認をしつつ稼働調整に努めてまいります。

(7)の自主事業でございます。表としましては13ページから14ページに対照しております。物販事業につきましては自主財源を増やすとともに、収益を自主事業の充実に充てること、またミュージアムグッズづくり、さらには広報に関しまして、仙川駅前の地図広告掲載費として充てております。平成30年度から仙川駅前の地図広告が公開されておりますので、そちらの費用として充ててまいります。また、先ほど、当初でもご説明いたしましたミュージアムショップでございますが、ミュージアムショップの棚やワゴンなどを平成31年度も引き続きリニューアルして、ミュージアムショップとして魅力ある場を演出するように努めてまいります。

(8)の財団運営でございます。平成31年度からは指定管理期間が10年間となります。これによって長期的な展望を持って事業に取り組み、また人材の確保、育成を図ることができるようになりますので、さらに職員のスキルアップを図り、また安定した財団運営や事業内容の充実につなげてまいります。人材育成につきましては、さまざまな外部の研修に参加するなどしてスキルアップをするとともに、ベテラン職員から若手職員への知識や技術の継承を引き続き進めてまいります。また、運営につきましては、経費の抑制、効率的・効果的な事業運営に努めてまいります。

雑駁でございますが、簡単に事業計画についてのご説明とさせていただきます。

きました。

○事務局　引き続き、議案第３号「平成３１年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について」、ご説明をいたします。

上記の議案を提出する。平成３１年３月２８日。提出者、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事長、武者小路知行。

提案理由。一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第８条の規定により、理事会の決議を求めるため提案するものでございます。

それでは、一緒にお配りしております平成３１年度の予算書をごらんいただきたいと存じます。まず、１ページ、総括表でございます。これまでは事業活動収支のみの記載でございましたが、自主事業においてミュージアムショップの物品棚が固定資産となることから、財務諸表に連動した予算書の形式に変更いたしております。これは、先般平成３０年度決算書の作成に向けて会計事務所との打ち合わせをしたときに、税込み３０万円を超える物品棚などの製作家具が固定資産で減価償却の対象となり、投資的活動収支に記載することが適切であるとのご指摘がございました。このことから事業活動収支の部だけではなく、投資活動収支の部、財務活動収支の部も予算から記載する書式にいたしました。

予算書の総括表、１ページがⅠ事業活動収支の部（事業活動収入）、２ページが（事業活動支出）となっております。当財団の予算は、調布市からの補助金、指定管理料、受託事業費、利用料収入によって、展示普及事業及び資料管理事業と施設管理事業を運営する一般会計と、物品販売事業と自主事業を運営する特別会計で構成されております。これらの２つの会計を総括した表となっております。最下段、事業活動収入が総額１億３,４６５万５,０００円となっております。前年度より２３９万２,０００円の増額となっております。

収入で昨年度と比べ増減がある項目をご説明いたします。

補助金は８,８３７万８,０００円、前年度に対して１８７万３,０００円の増でございます。主に人件費で、平成３０年度の給与改定、非常勤・臨時職員の時給単価の改定、職員の定期昇給、昇格に伴う増となっております。

次に、指定管理料でございます。３,０８５万２,０００円に対して、昨年度との比較でございますけれども、２７５万７,０００円の増となっております。事業費、施設管理費、予備費の合計から利用料と諸収入、展覧会受託収益を引いた額となります。今回の増については、主に施設管理事

業で平成31年度は隔年となる収蔵庫の燻蒸作業を実施することから、前年度の環境調査との費用差による増が大きくなっております。

次に、3受託事業収入でございます。合計679万2,000円でございます。前年度に対して38万5,000円の減となっております。実篤公園の日常管理費と展覧会受託に伴う収入でございます。展覧会の受託については、平成31年度については現在具体的な依頼がございませんが、年度途中でのお話もよくございますので、予算科目として設定するため合計で6,000円となっております。

次に、4事業料収入です。130万で前年度と同額となります。平成30年度の入館者数と頒布売り上げを反映した額となっております。

次に、5諸収入でございます。講座や友の会、そして自動販売機の飲料の売り上げ等の収入でございまして、合計35万1,000円、前年と変わりはありません。

6自主事業収入でございます。合計で698万2,000円、昨年に対して185万3,000円の減額となります。その中で、2物品販売事業収入では645万で前年度から55万減額となっております。好調な物販の売り上げと、またコラボ企画での収入についても対応可能な金額というふうに設定いたしました。また、5繰入金は科目設定のみで129万9,000円の減となっております。前年度はミュージアムショップの改修資金として繰越金を繰り入れる想定でしたが、今年度は投資的収支と繰越金のほうに計上することとなりましたので、減額となりました。

次に、2ページをごらんいただきたいと思います。事業活動支出の総額は、下から2番目でございますが、1億3,465万5,000円となっております。前年度より239万2,000円の増額でございます。そして、事業活動の収支の差額に関しては5万円で、後ほど出てまいります予備費の金額分にこれが当たります。各支出内容については、具体的には6ページ以降の科目一覧にてご説明いたします。

次に、3ページです。Ⅱ投資活動収支の部でございます。投資活動収入はゼロ円、投資活動支出はミュージアムショップリニューアル第2弾で棚1台を移動式ワゴン1台の家具製作の費用となる100万円を計上しております。収支差額はマイナス100万となり、この費用については繰越金が活用されることとなります。

Ⅲ財務活動収支の部です。こちらは収入、支出ともゼロ円でございます。

次に、4ページをごらんください。Ⅳ予備費支出でございます。1予備

費支出は5万円で、前年度と増減がゼロとなっています。先ほどの事業活動収支の残額5万円が予備費支出の財源となっております。次の行は当期収支差額でございます。100万円のマイナスとなります。次の行、前期繰越金収支差額です。平成29年度の特別会計の次期繰越金となりました453万3,237円から、平成30年度に棚やカウンターなど製作にかかわる経費などの合計170万円を引いた額である283万3,000円を計上しております。次の行、次期繰越収支差額は、前期繰越収支差額からショップリニューアルにかかわる投資活動支出の分100万円に当たる当期収支差額の100万円マイナス分を引いた188万3,000円となります。

次に、5、事業活動収支の部（事業活動収入）は、総括表でご説明しましたので、内容的には同一でございますので、先に進めさせていただきます。

6ページ以降が支出の科目一覧となりますので、そちらをごらんいただきながら具体的に説明をさせていただきたいと思います。

事業活動支出、1管理費1管理費です。財団運営にかかわる費用として、1人件費の財団職員等の人件費、2事務費、財団運営及び所蔵品、所蔵資料（図書）の収集・保険にかかわる事務費ということでの支出でございます。

1人件費1職員給料に関しては、2,667万円でございます。前年度に対して60万4,000円の増。これは定期昇給、昇格による増額、2職員諸手当でございます。2,050万3,000円、昨年度に対して114万1,000円でこちらも定期昇給、昇格による増額でございます。嘱託職員の報酬でございます。前年度と44万6,000円増額ということでございましたが、これは平成30年度の嘱託時給の単価アップ及び勤務日数の変更による増額でございます。4臨時職員給料でございます。前年度に対して19万3,000円でございます。これも同じく時給単価アップによる増額でございます。5臨時職員諸手当でございます。前年度34万5,000円に対してマイナス14万7,000円でございます。こちらは交通機関を利用する職員が減ったことから減額となりました。6社会保険料支出でございます。1,096万4,000円でございます。昨年度に対して17万9,000円の減でございます。これは社会保険料の精査ということでこの減額となりました。次に、福利厚生費でございます。健康診断対象者14名の費用、負担金は職員5名の中退金の掛け金でござ

います。9旅費でございます。33万5,000円で昨年より5万円減でございますが、新しき村100年にかかる長距離の出張がなくなったことから5万円減となっております。

2事務費でございます。予算額総額が1,003万3,000円、昨年度に比べて13万5,000円の減となっております。これは全体経費の縮減という形で減額となっております。その中で増になっております委託料に関しては、238万4,000円に対して4万4,000円増でございます。これは消費税のアップに伴う費用増ということでございます。6使用料・賃借料に関しても257万円に対して、昨年度から2万5,000円増となっております。これも消費税の引き上げによる費用増ということでございます。公租公課に対しては、法人税等でマイナス5万円ということでございます。

2事業費でございます。総額1,705万3,000円で、昨年度より2万3,000円の増でございます。実篤記念館の事業にかかわる費用全般でございます。1普及促進事業費でございます。1,199万円でございます。昨年に比べ33万2,000円の増でございます。展示普及事業にかかわる費用で、一般需用費が396万2,000円、昨年度に対して18万5,000円の増、これは先ほど来お話ししております博学連携プログラムの増ということと、パソコンのソフトの更新が必要となることからこちらが増となっております。博学連携に関しては、新しい教育指導要領の中で「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた事業改善を進めるに当たっては、学校図書館の活用に加え、資料調査や本物の芸術に触れる鑑賞等の活動を充実させるため、地域の博物館、図書館等の施設を積極的に活用するということがございまして、これに積極的に取り組んでいくということで、今年度から博学連携のプログラムに対しては重点的に費用を振り分ける予算となっております。3役務費でございます。245万4,000円を計上し、昨年度に対して14万7,000円の増でございます。これは、美術品の運搬や作業員の人件費の増に伴うものでございます。

次の7ページでございます。2資料管理事業費でございます。166万6,000円で、資料の整理・保存にかかわる費用でございますが、前年度と同額となっております。

3情報提供システム事業でございます。339万1,000円でございます、昨年度に対して1万円の増ということで、情報提供システムの運用にかかわる費用でございます。使用料・賃借料に関しては、光回線等の消

費税分として1万円の増になっております。

4 受託事業費でございます。これは展覧会の受託等にかかわる費用でございますが、先ほどご説明したように、科目設置ということで6項目各1,000円で6,000円の計上となっております。

3 施設管理費でございます。実篤記念館の施設管理及び実篤公園日常管理費にかかわる費用でございます。全体総額で2,219万2,000円。昨年度に対して234万9,000円の増でございます。

1 施設管理運営事業費でございます。その中で修繕料が大きくマイナスとなっております。261万1,000円で昨年に対して79万7,000円の減額となっております。これはエレベーターのシーケンサーの修繕にかなりの費用がかかりますが、前年度の二酸化炭素消火の設備修繕の費用がそれを上回る額であったために減額の形になっております。また、入館者用のパンフレットの在庫がなくなることから、印刷製本費として34万5,000円を計上し、昨年度ございましたので、その分増額となっております。次に、役務費でございます。これは電話の使用料と電話機器の新規のリースの2年目に対応しておりまして、前年度と同額の36万7,000円でございます。3 委託料でございます。維持管理委託料が388万8,000円でございます。昨年度に比べて190万2,000円の増となっております。隔年で実施いたします収蔵庫燻蒸と環境調査の差額による増、また、シルバー人材センターの単価増に伴うものでございます。保守点検委託料でございます。206万3,000円。昨年度に比べ48万2,000円の増となっております。先ほど補正でもご説明したように、建築設備点検の防火設備点検の項目が義務化されたということに対する増、また、消防設備点検においては二酸化炭素の消火設備は特殊な点検が必要となることが判明したことから、その費用の増額ということで48万2,000円の増となっております。警備委託料に関しては、75万4,000円を計上しております。消費税分の増ということで7,000円の増、デザイン委託料に関してはパンフレットデザインということで6万5,000円の計上をしております。こちらは昨年度ございましたので6万5,000円の増ということになります。使用料・賃借料に関しては、消費税対応で昨年より1,000円多い73万2,000円を計上しております。

2 実篤公園管理事業費でございます。実篤公園日常管理にかかわる費用でございまして、678万6,000円を計上し、前年度より23万

4,000円の増となります。維持管理委託料のほうで603万2,000円、22万7,000円の増となっております。これはシルバー人材センターの単価増に伴うものでございます。シルバー人材センターでは、昨年度に引き続き東京都の最低賃金増のために単価契約の見直しがありましたので、実篤公園の日常管理、旧実篤邸にかかわる委託費用が増になったものでございます。警備委託料75万4,000円、計上が7,000円の増ということでございます。消費税に伴うものでございます。

4 自主事業費でございます。総額で698万2,000円、昨年度より185万3,000円の減額でございます。

2 物品販売事業費でございます。総額593万2,000円、151万8,000円の前年度比減でございます。特に、2 商品仕入費458万2,000円でございます。昨年度より41万8,000円の減となっております。これは、限定チョコが好評でございますが、コラボ企画などでのグッズ販売をすることも想定した見込みでございますが、平成30年度の状況を見て減額とさせていただきました。5 委託料でございます。32万円を計上し、昨年度に比べ116万円の減でございます。これは先ほど来からご説明しておりますように、ショップコーナーの改修にかかわる費用に関しては、投資的経費のほうで計上するということでございますので、そのために減となっております。広告・宣伝費でございます。18万円、昨年度より6万円増でございます。先ほど事業計画のほうでご説明ございましたように、仙川駅前広告掲示料の増ということでございます。公租公課に関しては40万ということで前年比ゼロでございます。

自主事業。全体で104万円でございます。昨年と比べ33万5,000円の減額でございます。おもに観梅会や朗読ワークショップなどの自主事業にかかわる経費でございます。昨年度に比べ、収入が減額ということが多くなっておりますので、それに見合う全体の減額をしております。

事業活動支出に関しては、合計1億3,460万5,000円、前年度に対して239万2,000円、収支差額に関しては5万円ということで、これは予備費に当たる金額でございます。

次に、9 ページ、Ⅱ投資活動収支の部でございます。

投資活動収入はゼロでございます。

投資活動支出に関しては、1 投資活動支出、1 固定資産取得費、1 什器備品費ということで100万円を計上いたしております。ミュージアムシ

ヨップ、棚・ワゴンの製作費用でございます。昨年度に比べ１００万円の増、支出が１００万円ということで、投資活動収支の差額はマイナス１００万円となります。

Ⅲ財務活動収支の部でございます。こちらは、収入、支出ともございませんで、ゼロ円でございます。

次に、１０ページの予備費をごらんください。Ⅳ予備費支出でございます。５万円を計上し、前年度に対して増減ゼロでございます。次に、当期収支差額でございます。１００万円のマイナスとなります。前期繰越収支差額２８３万３,０００円を計上しております。昨年度は当初には計上しておりませんので、２８３万３,０００円の増となっております。次に、次期繰越収支差額でございます。１００万円を引いた形で１８３万３,０００円となります。増減としては昨年度は予算額の段階では計上しておりませんので、増減が１８３万３,０００円の増となります。

以上で、雑駁でございますが、平成３１年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の予算についてのご説明を終わらせていただきます。

○武者小路理事長　　どうもお疲れさまです。

細かい数字があったりしてちょっと頭が大変だと思いますけれども。まず最初に、議案第２号「平成３１年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画（案）について」、ご異議、ご質問等ございませんでしょうか。

お願いします。

○安本理事　　質問といいますか感想を一つ述べて、お願いを申し上げたいと思います。博学連携プログラムですが。

○事務局　　はい。博学連携プログラムですね。

○安本理事　　ですけれども、先日記念館のほうにお邪魔しましたら、スケッチブックの中をコピーして手にとって見られるようにして置いてあったりして、実物を触ることはできないんだけどコピーのものを置いてある。そういったものは子供たちのみならず一般のこういう来館者にとっても大変わかりやすい展示であったなと感じました。こういった積み重ねを博学連携プログラムの中でも積み重ねていっていただいて、子供たちがより本物を見る、そして本物を見たときに学ぶ手段としてそういうコピーですとか複製といったもので実際に大きさを体験してみたり詳しく中を見ることができるというような教材づくりをお願いできたらなと思いました。

あとは、四中さんの部活動の発表も大変よくて、たった１０人弱のお茶

席でもやっている中学生は大変緊張した面持ちでやっていらして、ああ、子供たちにとってここは日常とは違うところで、一般の地域の人たちを相手に発表をするということはいいい経験になってるんだらうなというふうに思って、それに協力されたこの記念館に対して、本当に敬意を申し上げるところでございます。ありがとうございます。以上です。

○事務局　ありがとうございます。

○武者小路理事長　どうもありがとうございます。

ほかに何かご質問、ご異議ございませんでしょうか。よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○武者小路理事長　特にないということですので、次に、議案第3号「平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算（案）」について、質疑、ご意見をお願いいたします。

特にございませんでしょうか。

それでは、ご異議なしと認め、議案第2号「平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画（案）」及び議案第3号「平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算（案）」については了承するということにいたします。

以上で、議案の審議は全て終了ということになります。その他の報告事項について、事務局から一括してお願いいたします。

○事務局　それでは、議事次第にございますとおり、その他報告ということで順次簡単にご説明させていただきます。本日お配りいたしました資料がございまして、それに沿って資料を準備させていただいておりますので、ごらんをいただきながら進めさせていただきたいと思います。

まず、ミュージアムショップのリニューアルについてです。こちらのカラーのA4判の1面で写真を掲載させていただきました。かねてより懸案でございましたミュージアムショップのリニューアルでございます。全体の雰囲気をつ統一感のあるものにとということで、木製の物品棚とワゴンということで平成30年度つくらせていただきました。

エントランスホール搬入前は全くがらんどうの状態でございますけれども、そこに搬入しまして、ちょうど写真の中段でございます。両側扉を開いた感じでショップをディスプレイさせていただきました。このディスプレイをした後に非常にお客様の購買意欲が高まりまして、これまで絵葉書は回転するようなものに立てていた形でしたが、木製の箱にきれいに並べておりますと、非常に買いやすいのか、とても購買意欲が上がるのか、非

常にたくさん絵葉書なりグッズを買っていただく機会が増えたということ、必ず入館される方にとまって見ていただけるというような、やはりこういう形でリニューアルすることの効果が非常に出たかなと思っております。

下段の左側の状態が現状の入り口よりショップを見るという形でございます。左端にまだございます白い台のところを平成31年度はワゴンをつくりまして、そこがちょうどボランティアさんのガイドの受付などに使っておりますので、そういったところで雰囲気全体を上げていきたいと考えております。

さらに、平成31年度の各製作に取り組んで、全体のイメージアップというリニューアルを進めていきたいと考えております。以上でございます。
○事務局　続きまして、実篤記念館の紹介記事についてでございます。まとめたものをお配りしております。

昨年度はやはり新しき村の100年にかかわる取材が多かったことで、表に新しき村関係の記事を一覧にしておりますが、実篤記念館自体への取材、また資料などの提供などでご協力をしたものでございます。コピーをつけてございますが、宮崎などでは連載記事なども出ておりますし、読売新聞であるとかそういった全国紙の大きなもので取り上げていただくチャンスとなりました。

それから、新しき村の記事の後ろにチョコレートの記事がついてございます。1枚にまとめてございますが、この記事が発売の直前に出たということで、東京新聞と読売新聞の記事に載りまして、発売当日はほかの業務に支障を来すほどの電話でのお問い合わせをいただき、わずか1週間で予定した数が売り切れてしまうというような大きな反響をいただきました。こういったチョコレートの記事で初めて実篤記念館を知るという方も毎年おられますので、販売ということではなくて、多くの方に知っていただくチャンスとして役になっているのかなということを実感いたしました。

その次にございますのが、日本経済新聞と読売新聞などで取り上げていただいた武者小路実篤邸の登録有形文化財関連の取材と、それから登録プレートが届いたときに取材をしていただいたものでございます。やはり、7月に登録が発表されて以来、毎月のようにぽつりぽつりと取材をいただき、長く話題にさせていただくことができました。

そして、梅についてですね。こちらは梅の花と、それから観梅の集いを話題にいただいたものでございます。

もう一つ、ガイドブックの記事のコピーをその後にまとめて置いてありますが、東京の文学館のガイドブックの中でこういった形で紹介をいただいております。『死ぬまでに一度は訪ねたい東京の文学館』というなかなか大げさなタイトルがついてありますが、興味を持っていただけるチャンスになっているかと存じます。

続きまして、春の特別展のチラシのコピーをお配りさせていただいております。「実篤がみた女性たち」ということでございますが、実篤にとりましては母秋子さんが最初に大きな影響を与えた人物、それから文学へ向かっていくきっかけとなったのが初恋の志茂テイさんであったということ、それから新しき村を生み出すについては、最初の夫人であります房子さんとの出会いというものがあったということ、そして、大変親密な家庭を築くことになりました安子夫人との出会いと、そこから絵を描くことにつながったり、あるいは仙川での静かな生活につながったりということで、実篤のさまざまな活動の節目節目に女性の存在がございますので、そういったところに注目して展覧会としたものでございます。実際の印刷物をお配りするのになんと間に合わなかったのでコピーで申しわけないのですが、こういった形で4月に特別展を開催いたします。

それから、ぐるっとパスでございますが、こちらは引き続き2019年度もぐるっとパスに実篤記念館は参加いたします。こちらのぐるっとパスに参加したことでこれまで実篤記念館の展覧会などにお気づきいただけていなかった美術館利用者層に、実篤記念館の展覧会に気づいていただけるという広報的な意味で大きな役割を果たしているかと思えます。2019年・2020年に向けて、ぐるっとパスのほうも近隣の県まで加入を広げていまして、埼玉であるとか千葉であるとか神奈川であるとか、そういったところの美術館も入ってきたということで、さらに広い広報の役割を担うことを期待できるかと思われます。

それから、小さなパンフレットなんですが、府中市美術館と小金井市立はけの森美術館と実篤記念館のスタンプラリーの冊子、パンフレットを今お配りしております。こちらは、「お散歩！おとなり美術館 ミュージアム・リンク・ムサシノ」ということで、武蔵野地域の美術館を巡ってさまざまな特典を差し上げるという形です。長いスパンでやっておりまして、来年3月までの期間がございますので、府中市美、はけの森と実篤記念館のそれぞれの利用者がまた次の美術館への利用を広げていただけるチャンスとして使っていただけるように始めております。

こちらが今お配りした資料でございます。

○事務局　続きまして、役員報酬の源泉徴収額の変更についてということで、一言ご案内をさせていただきます。

本年3月8日付にて、市の行財政改革課長から監理団体所管課長宛てに役員等報酬にかかわる源泉徴収についてという情報提供をいただきました。内容につきましては、主管課、行財政改革課の監理団体である一般財団法人調布市市民サービス公社において、武蔵府中税務署による源泉徴収税に関する税務調査が行われました結果、その役員等の報酬支払いについて源泉徴収の一部指導をいただいたという内容でございます。具体的にではどういふものかと言いますと、これまでは役員報酬につきましては、日額でお支払いしているものについては、一律10.21%を乗じた金額である1,531円の源泉徴収を行っておりましたが、武蔵府中税務署のほうからの指導の結果、実際には給与所得の源泉徴収税額表というのがあるんですが、その日額表の乙欄というのがございまして、それを適用して3,840円の源泉徴収をせよということでございます。

その根拠につきましては、源泉徴収の根拠は、先ほど申し上げた源泉徴収税額表に記載されている金額を徴収しろということなんですが、給与所得者の扶養控除と申告書が提出されていない場合には、乙欄という欄の税額を使いなさい、乙欄には日額表、いわゆる日額で支払う税額が記載されております。基本的には、その金額ということで、一律の1,531円ではなくて、その1万5,000円に対応する3,840円を源泉徴収せよということでございます。

それで、公社につきましては、この税務署の指導を受けまして、平成30年1月から12月における源泉徴収不足分の追加納付を行ったということでございますが、私どもにつきましては、大変申しわけないんですが、本日の理事会及び評議員会の時点からこの3,840円の乙欄を使った源泉徴収税額を徴収させていただくということになりますので、ご了解のほどよろしくお願いいたします。

それと、今お手元にお配りいたしました来年度の私どもの職員体制の名簿でございます。変更点につきましては、私がこれまで常務理事と事務局長を兼務しておりましたが、福島が4月1日より事務局長に昇格することになりました。そして、生野につきましては、再任用という形で主幹ということでまた1年間こちらの組織の中で働くということになっております。その変更によって、事務局次長の伊藤でございますが、これまで事業係長

事務取扱でございましたが、福島昇格に伴いまして、福島が兼務しておりました総務係長の事務取扱もあわせて行うということになってございます。

それと、一番下の臨時職員の欄でございますけれども、今年の2月いっぱいまでこれまで勤めておりました高橋淑子が退職いたしまして、4月1日から新たに山縣栄子というものが臨時職員として受付、庶務、物販担当ということで勤めさせていただきますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。

○武者小路理事長　ただいまご報告いただきました事項について、ご質問でございますでしょうか。

特にないようでしたら、本日予定しておりました案件は全て終了いたしましたので、平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館第2回定時理事会を閉会とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

(午後3時8分 閉会)